

## 第153回 森で遊ぶ会－「春の谷津山観察会」－

日時：平成30年4月19日（木） 10時00分～12時30分

場所：静岡市葵区護国神社～谷津山古墳～清水山公園

参加者：男性3人 女性25人 合計28人

担当幹事：杉山、小嶋

アシスト会員：青野、中川、内野、小久保

### 『観察会の様子』

今年度第1回目の森で遊ぶ会でしたが、28人の参加者がありました。天候もまずまず寒くもなく暑くもなくナイスコンディション。新緑がまばゆい護国神社の森は実に気持ちのよいフィールドです。

グループを3班に分け、日程説明や軽いストレッチの後、各講師の元、護国神社境内の樹木の説明から始まり谷津山の中に入っていました。

ここからは、各班の観察の様子を紹介します。



### ◎ 1班（担当講師：小久保、青野）の観察会の様子



女性ばかり10名のグループだった。森で遊ぶ会には初参加だが、藤枝市の「みみずくクラブ」で自然観察には親しんでいるという方が多かった。しかし樹木を丹念に見た経験は少ない方が大半で、一つ一つの説明を熱心に聞いて頂くことができた。護国神社の境内ではオガタマノキの托葉痕、イヌシデの樹皮の特徴ある模様、ケヤキの花、ネズミモチの花芽などを見てもらった。常緑だが毎年葉を入れ替えるクスノキの生態、生き急ぐアカメガシワやクサギ

などの陽樹と、日陰者でじっくり生きるカクレミノやアオキなど陰樹との生き方の違いなど、植物の生活戦略の一端も知ってもらった。また解説の中では「食べられる」というひと言に、いつも関心を持っていただける。そこでスタジイやムクノキ、イヌビワ、カヤの実、そしてアケビやクサギの新芽などをその食べ方とともに紹介した。

めぼしい樹木の花についてはちょうど端境期になってしまったが、ケヤキ、ムクノキ、タラヨウなどの花を見ることができた。また鮮やかな黄緑の新葉に覆われ始めたクスノキ、鮮紅色の新葉が枝先に噴き出したタブノキなどが彩りを添えてくれた。たった2時間という駆け足だったが、オオルリ、メジロ、ヤマガラなどの囀りも聞きながら気持ちの良い低山歩きを楽しんでいただけたと思う。



### ◎ 2班（担当講師：中川、小嶋）の観察会の様子

社務所前ではオガタマノキ、ヒイラギなどを観察した。複数の鋸歯がないヒイラギには皆さん珍しいと感心



していた。また、出来立ての緑色の実がぶら下がっているのにも感心していた。参道脇ではモチノキ、ネズミモチ、トウネズミモチ等の見分け方なども説明した。木の付く漢字当てクイズなど、中川さんのユーモワたっぷりの解説には参加者の笑顔と笑いが絶えなかった。尾根道では北側の暗い放置竹林と南側の竹林のあとに植樹された明るい整備された森の違いを観ていただいた。

また、参加者の中に実際に谷津山整備にかかわった方がおりイスノキの虫こぶや、タラヨウの葉っぱを拾い集めてついでに割りばしのペンまで持参していただいた方もおりインストラクター顔負けであった。清水山公園手前の尾根道では玉ねぎ状に風化した石も確認し皆さんに喜んでいただいた。

とにかく、この時期のいろんな色の新緑をめで、葉っぱや、キリの花の臭いを嗅いでもらったり、触ったりと五感をフル活用して観察していただいた。総合評価としては、参加者は大変満足して帰られたと思う。



### ◎3班（担当講師：内野、杉山）の観察会の様子



まずは護国神社境内のヒイラギから。ヒイラギの葉の変化やイスシデの若い果穂と丁度社務所に掛かっていた四手と比較しながら名前の由来や四手模様について説明した。また、園芸種のサクラ、陽光について、作出者の高岡正明の思いや陽光桜誕生までのエピソードを内野インストラクターが紹介。また、モチノキが早々と青い果実をつけていたので、その種に寄生するモチノキタネオナガゴバチが、果実の色をコントロールしながら繁殖を成功させる戦略について話す。谷津山に入って、クスノキとフシダニ、カブリダニとの関係、クサイチゴの花をつける時の原則や花びら内の空気を押し出して、白色の正体を説明。ちょっと専門的に仮軸分枝の実例をハゼノキで説明した。ちょうど、キリの花が咲いていたので香りを楽しんでいただいた。また、有度山方面を遠望し、ケスタ地形を解説する。古墳広場では、全員に集合してもらって、イスノキにまつわる問題、虫こぶ内のアブラムシのおしこの行方？イスノキより高価な木刀の材料は？この2問をみんなで考えた。サクラの葉の蜜腺にたかるアリとの共生関係や葉を揉んだ後に発生する身を護るための物質クマリンの香りを体験してもらおう。タラヨウでは、葉に傷がつくと黒くなるけれど、これも身を護るための反応。最後はナギ。熊野神社のご神木であるナギについて金剛童子の化身であり厄除けのお守りであることや縁結びの木であることなどを説明した。今回は、植物の害虫や病原菌などに対する自衛手段や昆虫との関係を中心とした解説を行った。これと言って珍しい植物はなかったけれど皆さん楽しそうで、いい時間が過ごせたと思います。



という具合で、各班の講師の工夫で皆さんが楽しんでいただいている様子がうかがえました。観察会後にも、「楽しかった！」という声が多く聞かれました。こういう声を聴くと、「やってよかったな」とつくづく思います。インストラクター冥利ですね。

今後も、皆さんに楽しんでもらえるフィールドを探して歩きたいと思います。